

# みんなの ひろば

## 主な内容

- 新理事長就任のあいさつ…………… 1
- 令和元年度新採用職員紹介…………… 2、3
- 常務理事あいさつ…………… 4

# 131号

令和元年5月1日  
発行



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

## 新理事長就任あいさつ



ささき まこと  
理事長 佐々木 信

4月に当事業団の理事長に就任いたしました。

元号が平成から令和に代わる節目の年に、常に時代の要請に応じて本県の福祉課題に率先して取り組みながら先導的役割を担ってきた事業団の一員となり、皆様と一緒に仕事をさせていただくことに喜びを感じるのと同時に、身の引き締まる思いをしております。

私は、県職員として37年間勤務しましたが、最初の配属先が福祉部児童家庭課で、児童福祉及び知的障害児者福祉の業務に従事しました。公設民営当時の和光学園やたばしね学園、県直営であった都南の園（現療育センター）の予算管理等を担当したこともあり、その後の異動により、中小企業振興や市町村行政指導、県予算編成、県立病院運営など、長らく福祉分野を離れ、様々な業務を経験しま

した。

平成27・28年度に保健福祉部長として30年振りに福祉行政に携わることとなり、合わせて当事業団の理事を務めることとなりましたが、障がい者福祉に係る措置制度から契約制度への移行、地域生活と就労の積極的な推進など大きな施策転換があり、また、目前に控えた社会福祉法人制度改革への対応等もあつて、戸惑うことが多かったというのが率直な感想でした。

この度の理事長就任に当たり、一日でも早く、事業団の現状や課題等を十分に理解して、職員及び関係者の皆様との連携を密にしなから、今後の事業団の発展と県民福祉の向上に努めていきたいと考えています。

現在の中長期経営基本計画は、経営理念として、「ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献」することを掲げ、障がい者福祉をはじめ、児童の健全育成から成人の生活支援まで幅広いサービスを提供しております。

平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための

2030年アジェンダ」に盛り込まれた「持続可能な開発目標（SDGs）」は、「誰一人として取り残さない」の理念のもと、経済・社会・環境の課題を統合的に解決することを目指すものです。こうした考え方は事業団の経営理念と相通じるものであり、時代が令和に移っても、私達には、これまでの取組を踏まえながら、利用者やその家族の方々、地域の期待に応え、将来に渡って良質な福祉サービスを提供していくことが求められているものと思います。

そして、その役割を果たしていくためには、職員が自らの心身の健康を保つことが大切です。4月の新採用職員への辞令交付に際し、「毎日のセルフコントロールをしっかりとしながら、日々振り返り、フレッシュな笑顔で職場を明るくしていただき」とのメッセージを送りました。

私自身も、健康に留意しながら、職員及び関係機関、団体の皆様と一緒に取り組んでいきますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

